日乗連ニュース
ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date　2006.03.23　　No.　29－36

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会
〒144-0043
東京都大田区羽田5－11－4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office@alpajapan.org

エアーニッポン乗員組合
エアーセントラル乗員組合
エアーニッポンネットワーク乗員組合

エアーネクスト乗員組合（日乗連非加盟）

２４時間全面ストライキ決行！

以下は4乗組ストライキ見解ニュースから

4 乗員組合は全日空経営に対して数年もの間,我慢強く交渉をつづけてきた。理不尽な子会社政策、分断攻撃に我々は 4 乗員組合の団結をもって力強く取り組んだ。しかしながら全日空経営は、グループ全体の永続的な発展につながることを理解しながらも、本体経営陣の間違った判断の結果、我々をあえてストライキに突入させた。子会社の運航乗務員、従業員をできるだけ「長く安く使おう」とする今の全日空経営には、何の信頼も展望も感じられない。いま 4 乗員組合は、更に団結を強化し闘うことを宣言する。4 乗員組合合同闘争委員会は論議を重ね、全員一致で 23 日の 24 時間全面ストライキ決行を決断した。我々は、4 乗員組合の安全運航の確保とプロパーの将来展望を獲得するために下記の方針とおり論議を進め取り組みを強化する。

○小型ジェット、プロップ機運航の安全を主体的に確保する
○全日空経営に対抗する確固たる共闘体制を確立する
○4 乗員組合の生活と雇用安定のため「垣根のない乗員養成」の実現とグループ労働条件の整理にむけ積極的取り組みを構築する。

４乗員組合は、4 月下旬ころに 24 時間ストライキを設定し再回答を求めることを含め 4 月 4，5 日の 4 乗員組合合同闘争委員会で今後の取り組みを構築していくことを確認する。

４乗員組合は、２３日未明まで粘り強く交渉を行ったが全日空経営は、我々の真摯な交渉にも応じようとしなかった。各組合の主たる理由は以下のとおり。

ＡＰＵ乗員組合は、　現在の全日空経営姿勢では、健全な乗員養成を確立できないと判断
ＣＲＦ乗員組合は、　安全運航の確保と、将来への希望をもてる職場が確立できないと判断
Ａ－ＮＥＴ乗員組合は、安全に対する姿勢（コスト削減のみに傾注する整備体制）
垣根のない乗員養成（流動化阻害要因として）
１．AIR NEXT 賃金体系に見られる A-net 賃金の更なる低評価
２．中型機の未導入（中型機への道のり）
３．ANK 出向者に対する不平等
ＮＸＡ乗員組合は、　現在の全日空経営姿勢では、健全な乗員養成を確立できないと判断

今後の方針等については 4 乗組合同執行委員会で決定しお知らせいたします。
春闘については収拾の方針です。4 乗組統一要求については堅持していきます。